

# 牛首紬

## 歴史

平治の乱(1159年)に敗れた源氏の落人が白峰村桑島へ逃れ、その妻が村人に機織を教えたのが始まりと言われている。江戸時代には白峰地方は天領となり、幕府の保護奨励策と商品経済の発展により全国的に名声を博した。

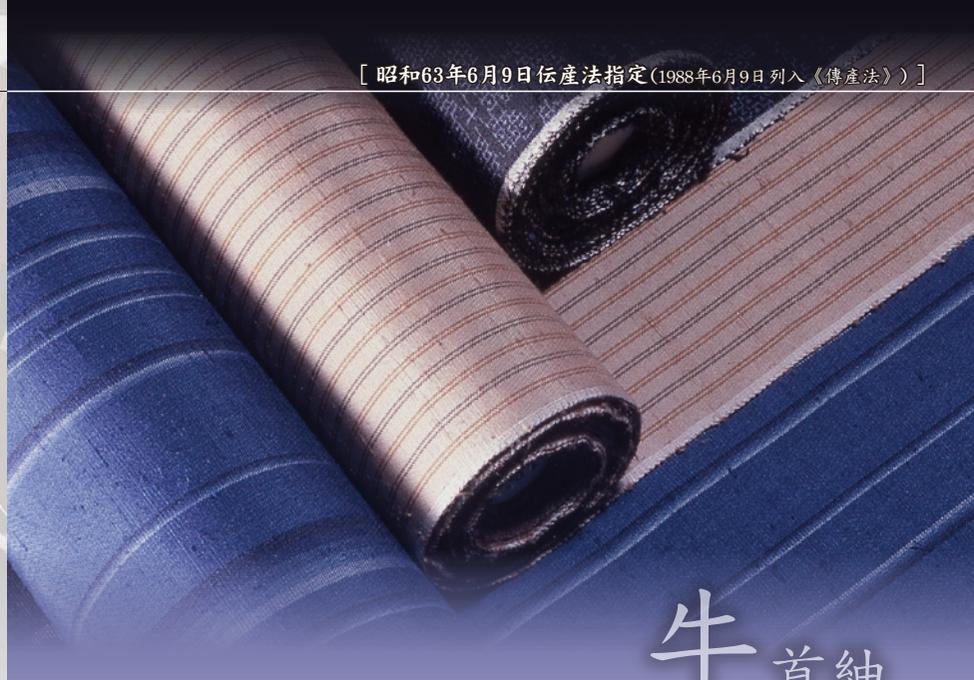
明治以降も養蚕の奨励と共に製糸や紬織が伸びていたが、第二次大戦により姿を消し、戦後、熱意ある人々の努力で復興した。

## 特色

釘に引っ掛けても反対に釘が抜けるほど丈夫なため、別名「釘抜紬」と呼ばれた。普通、紬は真綿を手で紡いだ紬糸を織るが、牛首紬は、2匹の蚕が共同で作った玉繭から直接糸を引き出して製糸(座繰製糸)した、太く節のある絹糸で織るため、野趣に富んだ素朴な美しさを持ち、独特の味わいがある。

現在でも、伝統技法により糸づくりから織りまでの工程作業を一貫して行っている。

昭和54年7月24日石川県無形文化財に指定された。



# 牛首紬

## 歴史與特色

牛首紬源自於12世紀中期，源氏在與平家門爭中戰敗而逃往白峰村，後來他們將紡織技術傳授給村民。在江戸時代，牛首紬受到幕府的庇護，發展成為地區的一項產業。在第二次世界大戰中，牛首紬不幸失傳，但是戰爭結束後，在村民們的努力下得到了復興。

牛首紬手感柔軟卻又異常牢固，甚至被稱為“拔釘紬”。由兩條蠶共織的大繭中直接抽出的蠶絲，用此粗而有節的絲線織出的牛首撚線綢具有野趣十足的樸素美。牛首紬從紡線到織布的傳統技法代代傳承，延續至今。

## 情報 資訊

主な生産地(主要産地)	白山市(白山市)
主な製品名(主要産品名)	訪問着、小紋、先染着尺、帯、和装小物等 (社交訪問用和服・小紋・先染後織・帯子・和服配件飾物)
主な生産者(主要生産者)	石川県牛首紬生産振興協同組合(石川県牛首紬生産振興協同組合) 〒920-2501 白山市白峰又17(白山市白峰又17) TEL (076) 273-2400 FAX (076) 273-4414